



メルマガジン

全部協プライムニュース

<https://www.zenbukyo.or.jp/>

全日本自動車部品卸商協同組合

2024年8月号

このメールは、組合員、賛助会員、及び配信希望登録を頂いた、組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆さまにお送りしております。

※このメルマガは目次に記載された順に記事が掲載されております。記事本文につきましては下方にスクロールしてお読みください。

CONTENTS

1. 全部協活動報告

- 1) 「18回大型・商用車部品部会」を開催

2. 自動車業界のニュース

- 1) 「第38回オートサービスショー2025」概要発表
- 2) 乗用車の1世帯当たり普及台数1.016台に
- 3) 正式名称を「ジャパンモビリティショービズウィーク2024」に決定
- 4) 国土交通省がトヨタ自動車(株)に是正命令
- 5) 日整連が今後の事業方針公表
- 6) 9月は「自動車点検整備推進運動」強化月間です

3. 統計情報

自動車販売統計

整備工場統計

4. 事務局からのお知らせ

- 1) 創立10周年記念動画を全部協ホームページから閲覧できます
- 2) 2024年版「自動車部品・用品マーケット要覧」が発刊されました
- 3) 全国労働衛生週間へのご協力をお願いします。
- 4) 日本フィルターエレメント工業会とエアフィルター販売促進で協力しています
- 5) Web互換品番検索システム Google Chrome版リリースのご案内

5. 全部協会議・活動日程

6. メルマガ配信アドレス登録のお願い

7. 付録

した。令和6年は保有台数が1万8千台、世帯数が51万世帯増加していますが、世帯数増加の伸び率に比べ保有台数の伸び率が下回ったことから世帯当たり普及台数は微減となりました。

都道府県別に普及台数をみると、上位は福井県（1.685台）、富山県（1.629台）、山形県（1.624台）、群馬県（1.573台）、栃木県（1.550台）の順で、世帯当たり1台以上普及しているのは39県です。一方、1台に満たないのは東京都（0.410台）、大阪府（0.616台）、神奈川県（0.670台）、京都府（0.789台）、兵庫県（0.885台）等となっています。

3) 正式名称を「ジャパンモビリティショービズウィーク2024」に決定

（一社）日本自動車工業会（自工会）は、10月15日～18日に幕張メッセ（千葉県）で開催するビジネス向けジャパンモビリティショーの正式名称を「JAPAN MOBILITY SHOW BIZWEEK 2024（ジャパンモビリティショービズウィーク2024）」に決定したと発表しました。

また、同ショーの企画の1つ「ビジネスマッチングプログラム」の一環として、同ショーに参加するスタートアップおよび事業会社の情報が閲覧できるオンラインコミュニケーションツール「Meet-up Box（ミートアップボックス）」を開設し参加者の受付登録を開始しました。

4) 国土交通省がトヨタ自動車(株)に是正命令

国土交通省は、型式指定申請において不正行為のあったトヨタ自動車(株)に対し7月31日付で是正命令を発出しました。5月末に不正行為の報告を受けた後、6月4日から実施した同社への立入検査や7月5日に提出された調査報告書の内容を踏まえ、同社から報告のあった7車種に加え、追加で7車種（現行4車種、過去生産車3車種）の不正行為を認定しました。

これらの結果を踏まえ、国土交通省はトヨタ自動車(株)に対し道路運送車両法の規定に基づき是正命令を発出するとともに、再発防止策および四半期ごとの実施状況を報告するよう求めました。

5) 日整連が今後の事業方針公表

（一社）日本自動車整備振興会連合会（日整連）は8月9日に記者懇談会を開き、6月に就任した喜谷辰夫会長、島雅之専務理事らが今後の事業方針と主要な取り組みを公表しました。令和6年度の主な事業としては、令和9年施行予定の新整備資格制度に対応した教科書作成準備、オンライン講習などWebを活用した教育手法の研究、「全日本自動車整備技能競技大会」の開催など新技術へ対応した事業を展開するほか、電子車検証や特定記録等事務代行、10月から開始されるOBD検査等のシステムに滞りなく移行できるよう対応策の準備・推進を図ります。また、電子制御装置整備の認証取得促進に向けた情報収集・提供や指定整備事業者の法令順守の徹底、FAINESの情報内容充実と利用促進等についても取り組む方針です。長年の課題である人材不足への対応については「オールマイティな解決策はない。多少でも



全部協では創立10周年記念事業として記念動画を制作いたしました。記念動画は全部協ホームページで閲覧できます。またYouTubeの「全部協チャンネル」からはショートバージョンの動画も閲覧できますので、ぜひご覧ください。

[◎全部協創立10周年記念動画（ロングバージョン）](#)

[◎全部協創立10周年記念動画（ショートバージョン）](#)

2) 2024年版「自動車部品・用品マーケット要覧」が発刊されました

自動車新聞社発行の2024年版「自動車部品・用品マーケット要覧」が7月31日に発刊されました。自動車部品・用品、整備に関する市場規模や販売動向、製品情報等の最新事情がまとめられています。

全部協組合員は、8月末まで定価3,300円（税込・送料別途）のところ特別価格2,640円（税・送料込）で購入できますので、ご希望の方は下記のご案内（購入申込書）にご記入のうえ自動車新聞社へ直接お申込みください。

[◎2024年版「自動車部品・用品マーケット要覧」](#)

3) 全国労働衛生週間へのご協力をお願いします。

厚生労働省から、「令和6年度（第75回）全国労働衛生週間」に関する協力依頼がありました。

全国労働衛生週間は、労働者の健康管理や職場環境の改善など、労働衛生に関する意識を高め職場での自主的な活動を促して労働者の健康を確保することなどを目的に毎年実施されています。10月1日～10月7日までを本週間、9月1日から9月30日までを準備期間として全国一斉に積極的な活動を行います。組合員の皆様もご協力をお願いいたします。

[◎令和6年度全国労働衛生週間実施要綱](#)

4) 日本フィルターエレメント工業会とエアフィルター販売促進で協力しています

全部協は、日本フィルターエレメント工業会が展開しているエアフィルターの販売促進活動に協力しています。

日本フィルターエレメント工業会では、エアフィルターの素材が不織布中心となっていることによりエアブロー清掃の効果が限定的であること、エアフィルターの汚れがエンジンや燃費に及ぼす悪影響等を広く周知し、適正な交換を呼びかける取り組みを進めています。全部協でも、定期交換の重要性や適正な交換目安について組合員や得意先に広く周知・啓蒙し、潜在需要を掘り起こすことでエアフィルターの販売拡大につなげられるとして、同工業会や卸商社と連携し販促活動を進めています。

[◎エアフィルター交換促進チラシ（日本フィルターエレメント工業会製作）](#)

5) Web互換品番検索システム Google Chrome版リリースのご案内

全部協はWeb互換品番検索システムのGoogle Chrome版をリリースいたしました。ご利用の組合員は、下記URLから利用手順をご確認いただきGoogle Chrome版をインストールしてください。互換品番検索システムご利用のすべての端末（PC）で同様の操作が必要です。複数の拠点でご利用の場合は下記の利用手順書を各拠点で共有いただけますようお願いいたします。

[◎Google Chrome版インストール前にお読みください](#)

[◎Google Chrome版互換品番検索システム手順書（1）](#)

[◎Google Chrome版互換品番検索システム手順書（2）](#)

なお、ご不明の点等がありましたら下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】（株）アペックス

電話：097-552-6500

5. 全部協会議日程

全部協会議・活動日程につきましては、下記のリンクをご覧ください。

[2023年度～2024年度会議・活動日程](#)

6. メルマガ配信アドレス登録のお願い

このメルマガは、組合員、賛助会員の配信希望登録をいただいた組合員企業の社員、関係機関・団体・企業の皆様にお送りしております。

配信をご要望の場合は、全部協ホームページからメルマガの配信登録をお願いいたします。組合員と賛助会員以外の方は、事務局にて確認のうえ、配信の取り計らいをさせていただきます。

7. 付録

- 1) [「ZEN-bukyoTool モール」利用のQ&A](#)
- 2) [デッドストック品掲載ガイドライン](#)
- 3) [「リパーツダイレクト」広告【PDF】](#)
- 4) その他の広告リンク
[ショーワグローブ株式会社](#)

本メールマガジンへのご意見、ご感想、お問い合わせ

全日本自動車部品卸商協同組合事務局

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-4-2 商工会館ビル6階

Copyright (C) 全部協事務局

[お問い合わせ](#) [配信停止](#)